
第5章

推進体制

皿池湿原の生物多様性の保全と利活用は、行政だけでなく、市民（地域住民）、企業、専門家など多様な主体の参画により進められる取り組みです。湿原の多様な価値を反映して、様々な取り組みが想定されますが、生物多様性保全の観点からも適切なものであることが重要です。また、取り組みの多くが各主体の密な連携を要します。このため、各主体が取り組みを行ううえでの基本的な考え方やルールを共有して成果を評価したり、取り組みのアイデア出し、植生管理・資金・人材等の役割分担など協力しながら、より発展的な取り組みへとつなげていくことを目的とする「（仮称）皿池湿原保全推進協議会」を設置します。

なお、「（仮称）皿池湿原保全推進協議会」を設置するタイミングは、市民や企業等の湿原保全に対する機運が高まったと考えられる時期とします。

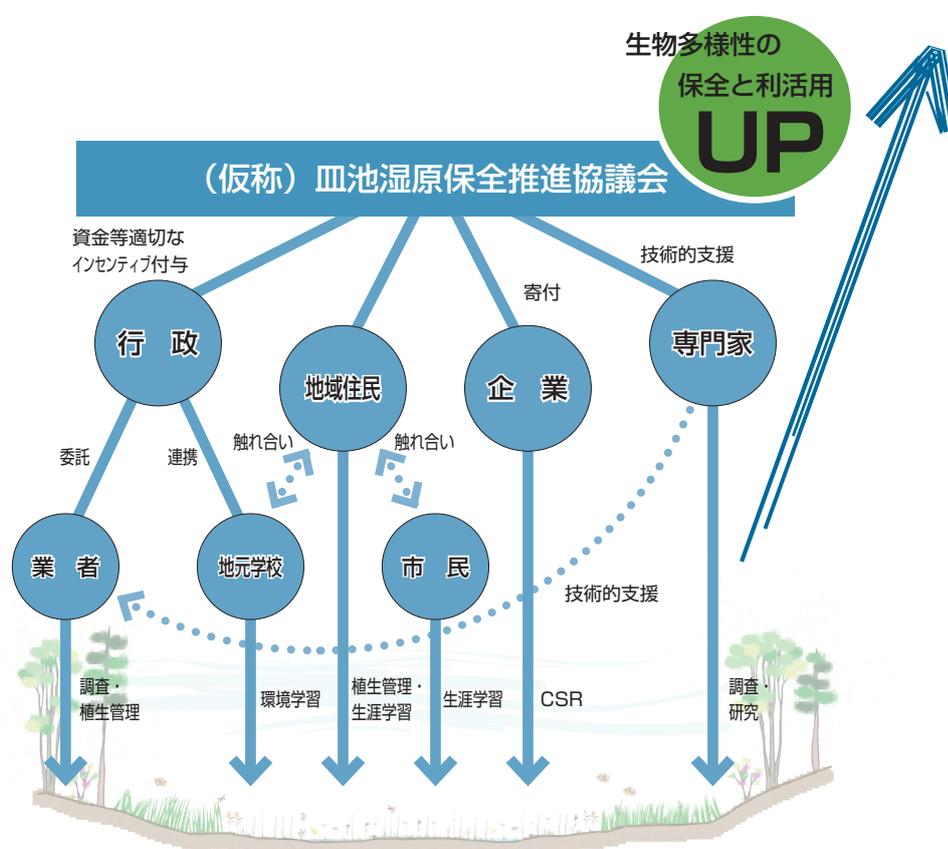


図. 推進体制のイメージ

参考文献

◆植物と動物、湿原の情報など

『武庫川流域に残る2つの湿原 武庫川散歩 人と自然特別号2』（服部保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小舘誓治・鈴木武, 2006年）

『湧水湿地の保全と植生管理』（福井聡, 2011）

『希少野生生物生息地自然環境調査業務』（財団法人兵庫県環境科学技術センター, 1996年）

『(仮称) 阪神間都市計画事業 北摂三田第二テクノパーク地区土地区画整理事業 環境影響評価報告書』（住宅・都市整備公団, 1995年）

『北摂三田第二テクノパーク地区土地区画整理事業 保全対策実施業務 報告書』（大和ハウス工業株式会社, 2010年）

『三田市皿池湿原保全管理業務委託 報告書』（三田市, 2015年）

◆貴重性・外来性の判定など

『環境省レッドリスト 2015』（環境省, 2015年）

『改訂・近畿地方の保護上重要な植物 レッドデータブック近畿 2001』（レッドデータブック近畿研究会, 2001年）

『兵庫県版レッドデータブック 2012-2014（鳥類・昆虫類・貝類・その他無脊椎動物）』（兵庫県, 2012-2014年）

『兵庫県版レッドデータブック 2011（生態系）』（兵庫県, 2011年）

『兵庫県版レッドデータブック 2010（植物・植物群落）』（兵庫県, 2010年）

『改定・兵庫県版レッドデータブック 2003』（兵庫県, 2003年）

『兵庫県版レッドデータブック』（兵庫県, 1995年）

『未来に伝えたい三田の自然 生態系レッドデータブック』（三田市, 2003年）

『外来生物法』（法律第78号, 2004）

皿池湿原保全活動計画

～生物多様性さらいけ戦略～

発行 2016年6月

編集 公益財団法人 ひょうご環境創造協会

協力 兵庫県立大学 教授 石田弘明

企画・発行 三田市 市民生活部 環境衛生課
〒669-1595 兵庫県三田市三輪 2-1-1
TEL 079-559-5080

写真、図版の無断転載を固くお断りします。

